



L2スイッチ

SWR2310-28GT
SWR2310-18GT
SWR2310-10G

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

本製品は Dante に最適な機能を持ったインテリジェントL2スイッチです。用途以外の目的では使用しないでください。

取り扱いに不慣れた方や、子供など本書に従って取り扱いできない方が使用する場合は、必ず安全面で責任を持てる方が補助してください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起	一般注意
禁止	禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 手ぬれ禁止
必ず実行	必ず実行 必ず接地確認 電源プラグを抜く



警告

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

電源 / 電源コード



禁止

電源コードやケーブルが破損するようなことをしない。

- ストープなどの熱器具に近づけない
 - 無理に曲げない
 - 傷つけない
 - 電源コードに重いものをのせない
- 感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。
付属の電源コードは日本国内専用（125Vまで）です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

火災やショートのおそれがあります。
必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

- 長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
- 雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

接続



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

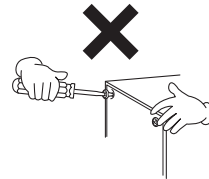
分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



水や火に注意



禁止

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。



注意

電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒や落下して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。

誤って本製品の穴に指を入れてけがをするおそれがあります。
本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、本製品の天面(SWR2310-10Gのみ)/側面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

- 本製品を設置する際は、
- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
 - 前面、背面や側面を上にして設置しない(壁や天井への設置を除く)。
 - 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

別売のウォールマウントアクセサリ-WK-SWRを使用するときは、SWR2310-18GTやSWR2310-10Gを2m以上の高さの壁や天井に取り付けない。

本製品が落下して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品をEIA標準ラックにマウントする場合は、19 ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。

放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

取り付け工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。

不適切な取り付けは、事故やけが、本製品の損傷や故障の原因となります。

- 本製品の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
- 継続して振動があるような場所は避ける
- 必ず指定された取り付け工具を使用する
- 定期的に保守点検を行なう

お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

本製品の通風孔/パネルのすきまに手や指を入れない。

けがをするおそれがあります。



禁止

本製品の上ののったり重いものをのせたりしない。

本製品が破損したり、けがをしったりする原因になります。



禁止

SFPポートに別売のSFPモジュール(SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX)やSFP+モジュール(SFP-SWRT-SR、SFP-SWRT-LR)を装着したときはレーザー光を覗き込まない。

別売のSFP/SFP+モジュールはクラス1レーザーを使用しています。光ファイバーの先端や光コネクタ接続部を覗き込まないようにご注意ください。

万一、覗き込んだ場合、目に障害が発生するおそれがあります。

バックアップバッテリー



禁止

バックアップバッテリーを自分で交換しない。

誤って交換すると爆発や故障の原因となることがあります。

バッテリーを交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。

注記（使用上のご注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- ・ポート内部を指や金属などで触れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・本製品の上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本製品のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- ・お手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・製品の周囲温度が極端に変化して（製品の移動時や急激な冷暖房下など）、製品が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- ・本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去してください。故障の原因になることがあります。
- ・本製品を強い磁界がある場所に設置しないでください。動作不良の原因になることがあります。
- ・本製品の同一電源ライン上にノイズを発生する機器を接続しないでください。故障や動作不良の原因になります。
- ・通信ケーブルを電源コードなどに近づけて配線しないでください。大きな電圧が誘起され、動作不良の原因になります。
- ・1000BASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリー5 (CAT5e) 以上の LAN ケーブルをご使用ください。
- ・SFP ポートには別売の SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX 以外の SFP モジュールを装着しないでください。それ以外の SFP モジュールを装着した場合、動作の保証はできません。
- ・SFP+ ポートには別売の SFP-SWRT-SR、SFP-SWRT-LR 以外の SFP+ モジュール、SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX 以外の SFP モジュール、DAC-SWRT-3M、DAC-SWRT-1M 以外のダイレクトアタッチケーブルを装着しないでください。それ以外のモジュールやケーブルを装着した場合、動作の保証はできません。
- ・使用していない SFP+ ポートや SFP ポートにはダストカバーを取り付けてください。異物が入り、故障の原因になります。ダストカバーは、なくさないように保管してください。
- ・本製品に付属のレッグ（ゴム脚）はすべり止め用です。すべりやすい机や台などの上に本製品を置く場合にご使用ください。
- ・本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）には直接接続しないでください。

データの保存に関する注意

- ・本製品はデータの時間情報保持用にバックアップバッテリーを内蔵しています。バックアップバッテリーが消耗してくると、時刻情報が初期化されるため、誤った時刻情報がログに記録されます。その場合は、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。バックアップバッテリーの寿命は約 10 年ですが、使用環境により変動する場合があります。交換後、時計を合わせてください。

製品に搭載されている機能 / データに関するお知らせ

- この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。(VCCI-A)

廃棄について

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

本製品で使用しているオープンソースソフトウェア

- ライセンス条文については、ヤマハプロオーディオホームページをご覧ください。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本書の表記について

本書ではそれぞれの社名や製品について、以下のように略称で記載しています。

- ヤマハ L2 スイッチ SWR2310-28GT、SWR2310-18GT、SWR2310-10G:本製品
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ケーブル:LAN ケーブル
- SFP-SWRT-SR、SFP-SWRT-LR:SFP+ モジュール
- SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX:SFP モジュール
- DAC-SWRT-3M、DAC-SWRT-1M:ダイレクトアタッチケーブル

■ アイコン

SWR2310-28GT、SWR2310-18GT または SWR2310-10G に関わる情報は以下のアイコンで表します。

SWR2310-28GT

SWR2310-28GT のみに関わる記載を表します。

SWR2310-18GT

SWR2310-18GT のみに関わる記載を表します。

SWR2310-10G

SWR2310-10G のみに関わる記載を表します。

メモ

全モデル共通に関わる記載にはアイコンは付いていません。

目次

安全上のご注意.....	2
注記（使用上のご注意）.....	6
はじめに.....	9
付属品.....	9
特長.....	9
別売品.....	10
関連ソフトウェアと関連文書.....	10
各部の名称と機能.....	11
前面.....	11
底面 / 背面 / 側面 / 上面.....	13
ポートのインジケータ.....	18
レッグの取り付け.....	19
ラックへの設置.....	19
壁面や天井への設置.....	23
設定.....	26
Web GUI を使用して設定する.....	27
CONSOLE ポートを使用してコマンドラインで設定する.....	28
接続.....	31
初期化.....	36
資料.....	39
ハードウェア仕様.....	39
寸法図.....	41
RJ-45/DB-9 コンソールケーブル ピン配列.....	42
ソフトウェアライセンス利用規約.....	43
索引.....	44
アフターサービス.....	45
保証書.....	48

はじめに

このたびは、ヤマハインテリジェント L2 スイッチ SWR2310-28GT、SWR2310-18GT、SWR2310-10G をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、Dante に最適な機能を持ったインテリジェント L2 スイッチです。この取扱説明書では、施工会社の担当者や設備設計者向けに設置や設定の方法を説明しています。本製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

付属品

以下の付属品が同梱されているか、ご確認ください。

- 取扱説明書（本書）※ 本書に保証書が掲載されています。
- AC100V 用電源コード
- 電源コード抜け防止金具（付属 AC100V 用電源コード専用）
- レッグ（ゴム脚）（4 個）
- 19 インチラックマウント用金具 & ネジ（金具：2 個、ネジ：8 本） **SWR2310-28GT** /

SWR2310-18GT

19 インチラック（1U サイズ）に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合」 **SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT**（22 ページ）をご覧ください。

特長

- 本製品は、Dante ネットワークを安定動作させるための推奨設定（QoS や IEEE 802.1p、IGMP Snooping など）を簡単に設定できます。
- 本製品は、日頃のネットワーク保守・運用業務を軽減できます。
本製品に接続されたネットワーク構成の把握や機器の状態の監視、および構成管理が Yamaha LAN Monitor（アプリケーション）上で可能です。
また、本製品は、性能管理、障害管理のサポートをします。すべてのモデルがメモリー・CPU の使用量や、ポート毎の帯域使用量を定常的に観測します。観測されたデータは Web GUI で表示したり、SD カード（別売）にバックアップできます。
本製品の下にネットワーク接続されている端末の死活監視を本製品のみで行なうこともできます。
- 本製品は、認証サーバと連携して、ネットワーク内の端末の認証が可能です。
これにより不正な端末をネットワークから排除することができます。
- SWR2310-28GT はスタック機能を有しています。スタック接続された複数のスイッチは仮想的な 1 台のスイッチとして運用可能です。

別売品

- **ラックマウントアクセサリ RK-SWR:**
SWR2310-10G を 19 インチラックに取り付ける場合に必要です。
- **ウォールマウントアクセサリ WK-SWR:**
SWR2310-10G、SWR2310-18GT を高さ 2m 以下の壁や天井に取り付ける場合に必要です。
- **SFP モジュール SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX:**
1000BASE-SX や 1000BASE-LX で伝送する場合に必要です。
- **SFP+ モジュール SFP-SWRT-SR、SFP-SWRT-LR:**
10GBASE-SR や 10GBASE-LR で伝送する場合に必要です。
- **ダイレクトアタッチケーブル DAC-SWRT-3M、DAC-SWRT-1M:**
SFP+ モジュールと銅ケーブル一体型のダイレクトアタッチケーブルです。
SFP+ ポート間を直接接続することで、距離は限定されますが、安価に 10 ギガビット・イーサネット環境の構築が可能です。

関連ソフトウェアと関連文書

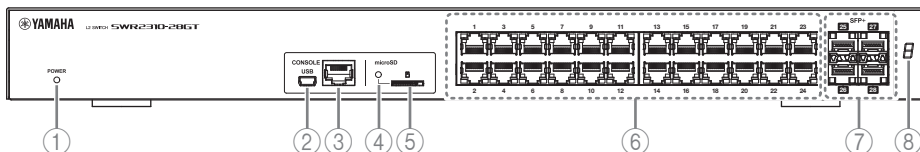
- **Yamaha LAN Monitor/Yamaha LAN Monitor ユーザーガイド**
本製品の情報や Dante ネットワーク上のすべての Dante 機器を含めたネットワーク全体を監視するのに使用する PC アプリケーションとそのユーザーガイドです。
- **ヤマハネットワーク機器 USB シリアルドライバー / ヤマハネットワーク機器 USB シリアルドライバーインストールガイド**
USB ケーブルを使って mini-USB CONSOLE 端子とコンピューターを接続して通信するための Windows 用ドライバーとそのインストールガイドです。
- **コマンドリファレンス**
コンピューターからコマンドラインで設定するときのコマンドについて説明をしています。
- **技術資料**
本製品の機能の詳細について記載しています。

これらのソフトウェアや文書は、以下のウェブサイトからダウンロードしてください。
<https://www.yamahaproaudio.com/>

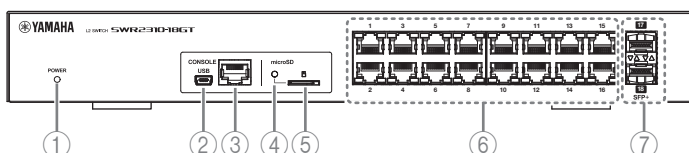
各部の名称と機能

前面

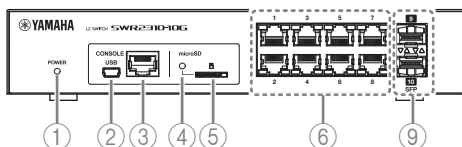
SWR2310-28GT



SWR2310-18GT



SWR2310-10G



① POWER インジケータ

通電時に点灯します。

POWER インジケータ	状態
消灯	電源オフ
点滅 (緑色)	電源オン、起動中
点灯 (緑色)	電源オン、正常
点灯 (橙色)	電源オン、異常発生



注意

本製品内部温度の異常を検知すると POWER インジケータが橙色で点灯します。本製品内部の温度が適正になるように、設置環境を見直して本製品を正しく設置してください。Yamaha LAN Monitor や Web GUI でも確認できます。

各部の名称と機能

② mini-USB CONSOLE 端子

設定用の mini-USB 端子です。パソコンの USB 端子と USB ケーブルで接続します。USB Type A コネクタと USB mini-B (5 ピン) コネクタの USB ケーブルをご使用ください。

メモ

データ通信対応のケーブルをご用意ください。充電専用ケーブルはご使用できません。

③ RJ-45 CONSOLE ポート

設定用の RJ-45 ポートです。パソコンの RS-232C 端子 (COM ポート) と、RJ-45/DB-9 コンソールケーブルで接続します。

④ microSD インジケータ

microSD カードの接続、使用状態を示します。

microSD インジケータ	状態
消灯	microSD カードがスロットに挿入されていません。
緑点滅	microSD カードにアクセスしています。
緑点灯	microSD カードが挿入されています。



注意

緑点滅しているときには、microSD カードを取り出さないでください。

⑤ microSD スロット

microSD カードを挿入するスロットです。

⑥ LAN ポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T に対応したポートです。

⑦ SFP+ ポート **SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT**

10GBASE-SR、10GBASE-LR、1000BASE-SX、1000BASE-LX に対応したポートです。

弊社別売の SFP+ モジュール、SFP モジュールやダイレクトアタッチケーブル (DAC-SWRT-3M、DAC-SWRT-1M) を装着します。

SFP+ モジュールや SFP モジュールの取り付け方については、「接続」の「SFP モジュールを装着する」(31 ページ) をご覧ください。ダイレクトアタッチケーブルの取り付けについては、「ダイレクトアタッチケーブルを装着する」**SWR2310-28GT** /

SWR2310-18GT (33 ページ) をご覧ください。また、このポートはスタック接続でも使用します。スタック接続については、「スタック接続する」**SWR2310-28GT** (34 ページ) をご覧ください。

⑧ Stack ID インジケータ **SWR2310-28GT**

スタック接続時の Stack ID を表示する 7 セグメントのディスプレイです。

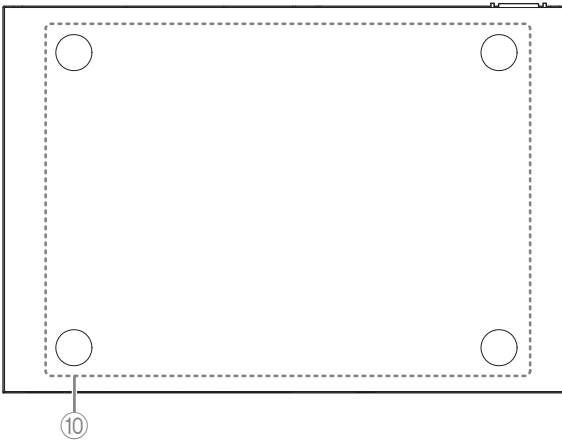
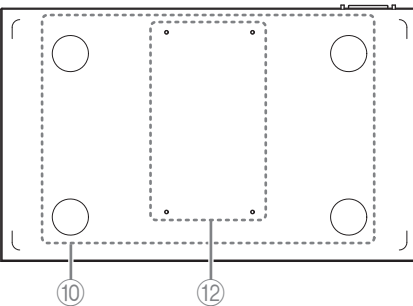
⑨ SFP ポート **SWR2310-10G**

1000BASE-SX、1000BASE-LX に対応したポートです。弊社別売の SFP モジュールを装着します。

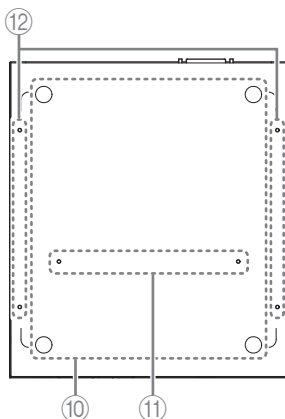
SFP モジュールの取り付け方については、「接続」の「SFP モジュールを装着する」(31 ページ) をご覧ください。

底面 / 背面 / 側面 / 上面

■ 底面

SWR2310-28GT**SWR2310-18GT**

SWR2310-10G



⑩ レッグ取り付けガイド

水平な場所に設置する場合に、付属のレッグを取り付ける位置です。取り付け方は「設置」の「レッグの取り付け」（19 ページ）をご覧ください。

⑪ ラックマウントアクセサリ取り付け穴 **SWR2310-10G**

ラックマウントアクセサリ RK-SWR を取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合」 **SWR2310-10G** （20 ページ）をご覧ください。

⑫ ウォールマウントアクセサリ取り付け穴 **SWR2310-18GT** / **SWR2310-10G**

ウォールマウントアクセサリ WK-SWR を取り付ける際に使用します。

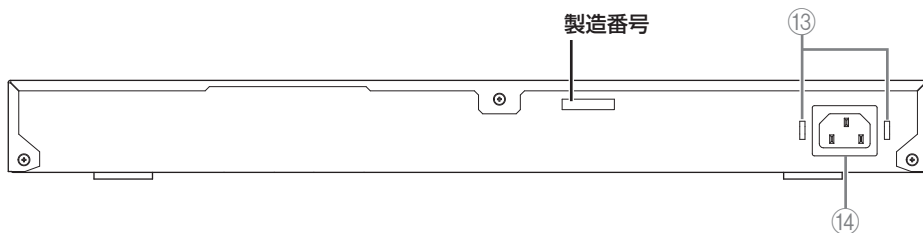
取り付け方は「壁面や天井への設置」 **SWR2310-18GT** / **SWR2310-10G** （23 ページ）を参照してください。

注記

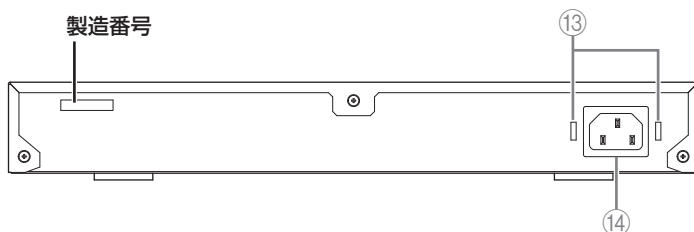
マグネットシートには対応していませんので、使用しないでください。

■ 背面

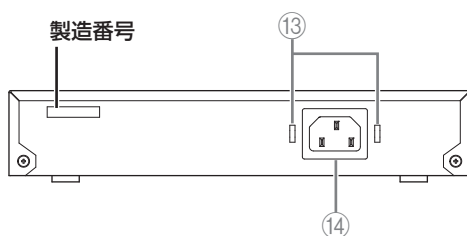
SWR2310-28GT



SWR2310-18GT



SWR2310-10G



⑬ 電源コード抜け防止金具取り付け穴

付属の電源コード抜け防止金具（コの字型）を取り付けます。取り付け方は「接続」の「電源を入れる」（35 ページ）をご覧ください。

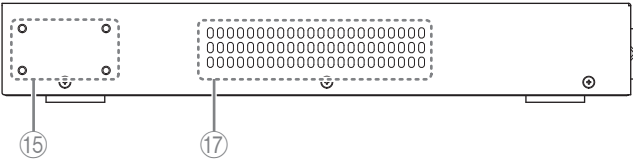
⑭ 電源インレット（3 極コネクター、C14 タイプ）

付属の電源コードを差し込みます。

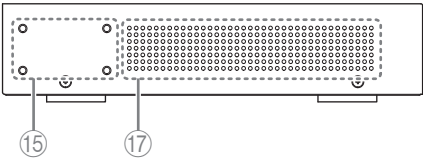
各部の名称と機能

■ 側面

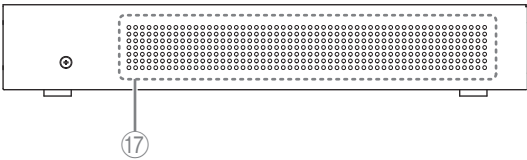
SWR2310-28GT



SWR2310-18GT

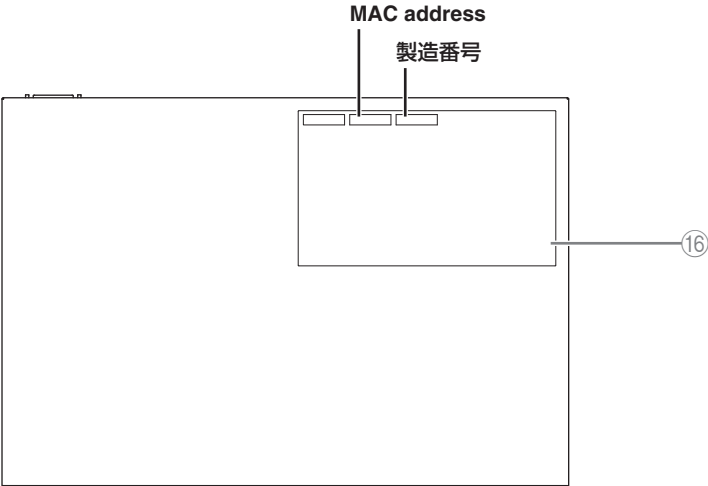


SWR2310-10G

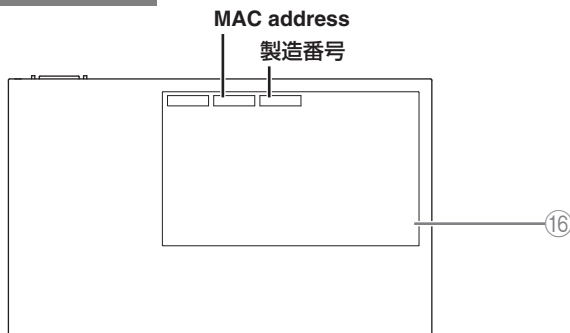


■ 上面

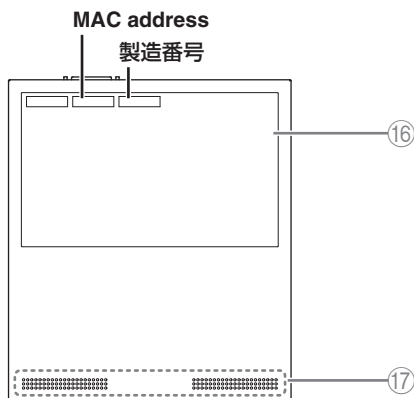
SWR2310-28GT



SWR2310-18GT



SWR2310-10G

⑮ ラックマウント用金具取り付け穴 **SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT**

19 インチラック (1U) に取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合」**SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT** (22 ページ) をご覧ください。

⑯ 製品ラベル

本製品の機器名、製造番号、MAC アドレスなどを記載しています。

⑰ 通風孔

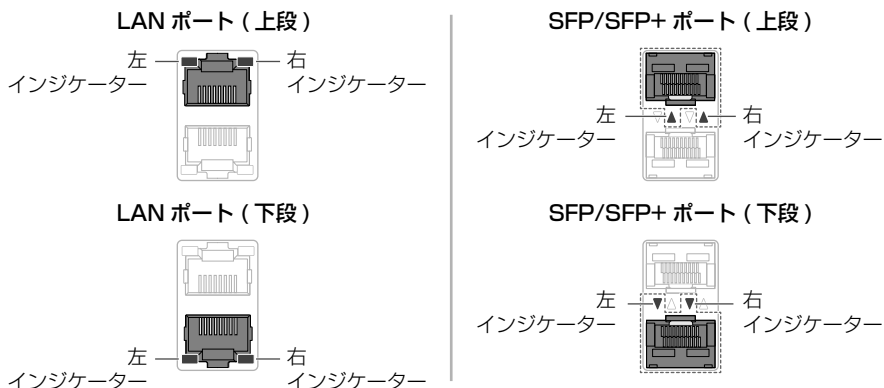
本製品に開けられた穴は、外気を取り込むための通風口です。

**警告**

通風孔をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。

ポートのインジケータ

LAN ポート、SFP/SFP+ ポートのインジケータで、各モードでのポートの状態を示します。



LAN ポートや SFP/SFP+ ポートのリンク状態と接続速度を表示します。

LAN ポート

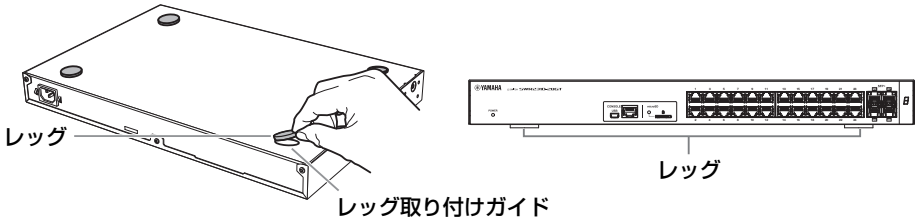
左インジケータ	リンクの状態	右インジケータ	接続速度
消灯	リンクを喪失しています。 (使用不可)	消灯	未接続。 または 10BASE-T で接続しています。
点灯 (緑色)	リンクを確立しています。 (使用可能)	点灯 (橙色)	100BASE-TX で接続しています。
点滅 (緑色)	データが流れています。	点灯 (緑色)	1000BASE-T で接続しています。

SFP/SFP+ ポート

左インジケータ	リンクの状態	右インジケータ	接続速度
消灯	リンクを喪失しています。 (使用不可)	消灯	未接続。
点灯 (緑色)	リンクを確立しています。 (使用可能)	点灯 (緑色)	1000BASE-SX/LX、 10GBASE-SR/LR で接続しています。 DAC-SWRT-3M、 DAC-SWRT-1M を使用している場合は、 10Gbps で接続しています。
点滅 (緑色)	データが流れています。		

レッグの取り付け

付属のレッグをレッグ取り付けガイドの位置に図のように取り付け、デスクの上などの水平な場所に設置します。



ラックへの設置

ラックマウント時の注意

- 本製品が動作保証する周囲温度は0～50℃です。本製品をほかの機器と一緒にEIA規格またはJIS規格のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。本製品に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。
- パワーアンプなどの発熱しやすい機器（XMV シリーズを除く）と一緒にマウントする場合は、ほかの機器との間隔を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気用装置を設置してください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書を参照してください。



注意

ラックを移動するときは、必ず本製品をラックから取り外してください。ラックにマウントしたまま移動すると、振動などによりラックマウントアクセサリやラックマウント用具が変形または破損して、けがの原因になることがあります。また、本製品が故障する可能性があります。

ラックへの設置

■ 19 インチラックに設置する場合 SWR2310-10G

SWR2310-10G は、弊社別売のラックマウントアクセサリ RK-SWR を使用して取り付けます。

【取り付け方法】

中央ブロックに取り付ける場合を例に説明します。左右ブロックに取り付ける場合も、下記の手順に従ってください。

注記

本製品に付属のレッグが取り付けられている場合は、外してください。

1. 本製品にラックマウントパネルを取り付ける。

ラックマウントアクセサリに付属の取り付けネジ（2本）を使用し、本製品の底面にラックマウントパネルを固定してください。

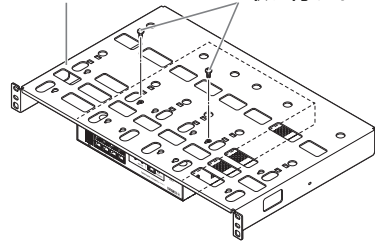


警告

本製品を弊社別売ラックマウントアクセサリ RK-SWR に取り付けるときは、必ずラックマウントアクセサリ付属の指定されたネジを使用する。

落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

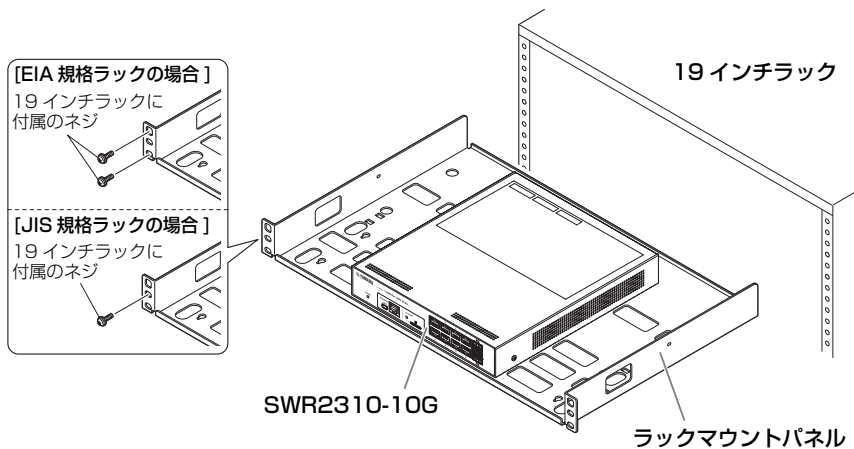
ラックマウントパネル 取り付けネジ



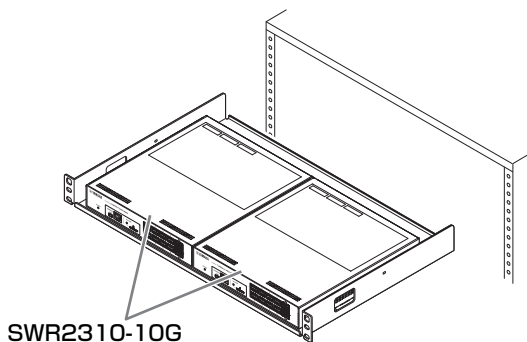
プラスドライバーで確実に固定します。

2. ラックmountパネルを 19 インチラックに取り付ける。

19 インチラックに付属の取り付けネジ（EIA 規格 4 本、JIS 規格 2 本）を使用し、19 インチラックに本製品を取り付けてください。取り付けネジはゆるまないように十分に締め付けてください。



下図のように SWR2310-10G を 2 台取り付けることもできます。

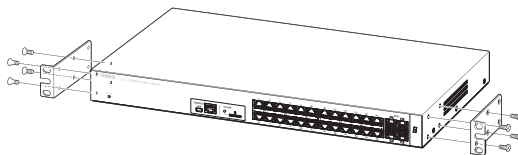


注意

本製品の上面にある通風口をふさがないようにすきまを設けて 19 インチラックに取り付けてください。

■ 19 インチラックに設置する場合 **SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT**

SWR2310-28GTとSWR2310-18GTは19インチラックマウント1Uサイズに適合します。19インチラックに組み込む場合は、付属のラックマウント用金具（2個）を付属のネジ（8本）を使用して固定します。ここではSWR2310-28GTを例にして説明します。



プラスドライバーで確実に固定します。



警告

必ず付属のラックマウント用金具とネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

注記

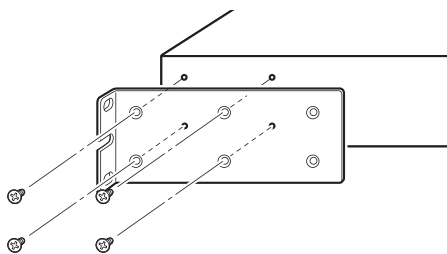
- ・ ラック本体に扉などがある場合には、本体を組み込んで通信ケーブルや電源コードを配線した後にはぶつかることがないように十分注意してください。
- ・ 本製品の側面にある通風口をふさがないように、すきまを設けて19インチラックに取り付けてください。

メモ

19インチラックに付属の取り付けネジ（EIA規格4本、JIS規格2本）でラックに取り付けてください。

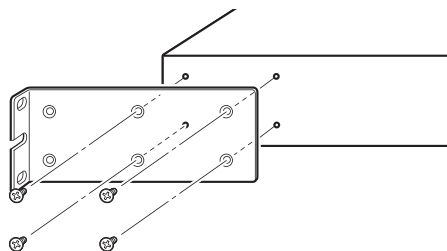
本製品にラックマウント用金具を取り付けるには、以下の2つの方法があります。

方法A：ラックマウント用金具のラックネジ面と本製品の前面を、同一面にして取り付け



方法B：方法Aよりも、4cm奥に取り付ける（リセス）

19インチラックに扉などがついている場合は、こちらの方法で取り付けます。本製品の前面に挿入したケーブル類がラックの扉に接触しないよう、本製品を奥に取り付けます。



壁面や天井への設置

SWR2310-18GT / SWR2310-10G

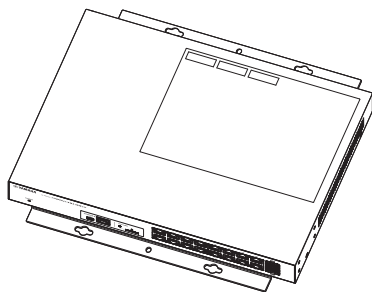
別売品のウォールマウントアクセサリ WK-SWR を使用して設置します。

天井には本製品の天地を逆にして取り付けてください。

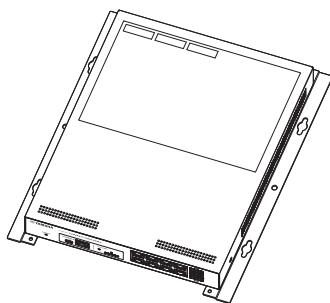
壁や天井の材質や厚さに合わせて、手順 1 の穴の仕様に合うネジ 6 本をご用意ください。

取り付けは手順 7 まで実施してください。

ここではおもに SWR2310-10G を使って説明します。



SWR2310-18GT



SWR2310-10G



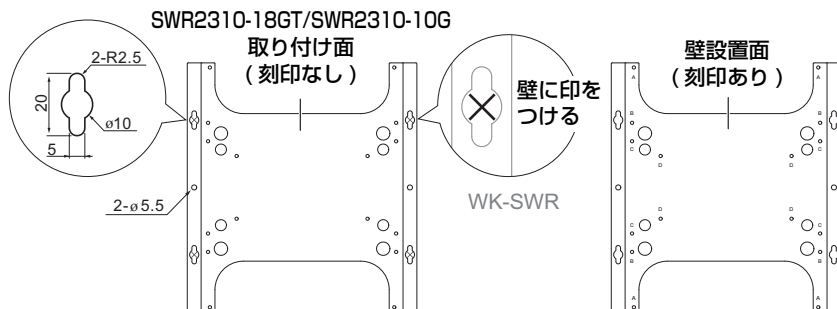
注意

- ・ 本製品を 2m 以上の高さの壁面や天井に取り付けない。落下によるけがや機器破損の原因になります。
- ・ 取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。
- ・ 取り付け工事は、必ず専門の施工会社に依頼する。また、取り付ける場合は、以下の点に注意する。
 - ・ 本製品の重量に十分に耐えられる取り付け器具と場所を選ぶ
 - ・ 継続して振動があるような場所は避ける
 - ・ 必ず指定された取り付け工具を使用する
 - ・ 定期的に保守点検を行なう

注記

- ・ マウント金具には、SWR2310-18GT/SWR2310-10G を取り付ける面と壁面や天井に取り付ける面があります。取り付け面を間違えるとマウント金具を SWR2310-18GT/SWR2310-10G に取り付けられません。取り付け面については、手順 1 と手順 3 のイラストを参照してください。
- ・ 製品本体とマウント金具の位置関係が SWR2310-18GT と SWR2310-10G とでは 90 度ずれます。

1. マウント金具を壁面や天井に当て、取り付け位置に印をつける。



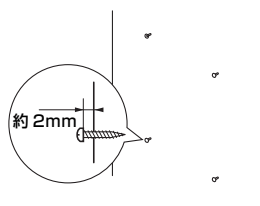
2. 手順 1 で印をした取り付け位置に、市販のネジ 4 本を
仮止めする。

その際に、壁面や天井とネジのくび下に約 2mm のマウ
ント金具引っ掛けしろを残す (右図)。



警告

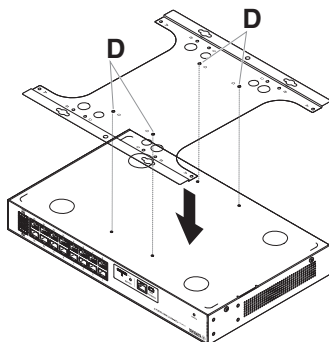
必ず壁面や天井の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。



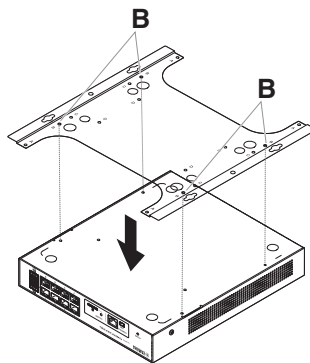
3. 本製品にマウント金具を合わせる (下図)。

注記

本製品に付属のレッグが取り付けられている場合は、外してください。



SWR2310-18GT



SWR2310-10G

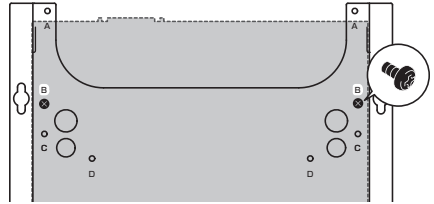
4. マウント金具を付属のネジ(4本)でSWR2310-18GT/SWR2310-10Gに取り付ける。

確実に固定してください。



警告

- 必ず付属の指定されたネジを使用する。落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。
- マウント金具の角に手や指をかけるときは、注意する。けがの原因になります。



注記

使用するネジ穴は、マウント金具に“D” (SWR2310-18GT)、“B” (SWR2310-10G)と刻印された穴です。

使用するネジは金属筐体用の黒色の小さいM3×4ネジです。

5. 手順2で仮止めした市販のネジに、組み上げたマウント金具を引っ掛けてずらす。

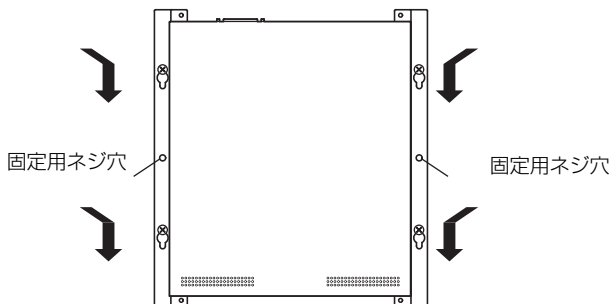


警告

本製品を落下させない。落下によるけがや機器破損の原因になります。

注記

横向きに取り付ける場合は、市販ネジにマウント金具を引っ掛け左右どちらかにずらしてください。



6. 手順2で仮止めした市販のネジを増し締めし、マウント金具を固定する。

7. マウント金具の固定用ネジ穴(2か所)に市販のネジ2本を取り付ける。



警告

必ず壁面や天井の材質に適合したネジを使用する。落下によるけがや機器破損の原因になります。

設定

以下の方法で本製品の設定を行なうことができます。

- Web GUI を使用して設定する
- CONSOLE ポートを使用してコマンドラインで設定する
- Telnet を使用してコマンドラインで設定する
- SSH を使用してコマンドラインで設定する

本書では「Web GUI を使用して設定する」(27 ページ)と「CONSOLE ポートを使用してコマンドラインで設定する」(28 ページ)を説明します。

本製品へのログインには、一般ユーザーでログインする場合、管理ユーザーでログインする場合があります。本章では、管理ユーザーでログインする手順を説明します。

また、使用するファームウェアによって、ログイン可能なユーザーが異なります。本製品が工場出荷時の状態の場合は、以下のユーザーでログインできます。

ファームウェア	ユーザー (工場出荷時の状態の場合)	備考
Rev.2.04.11 以降	初期管理ユーザー「admin」 (初期パスワード「admin」)	ログイン後、パスワードを「admin」以外に変更する必要があります。
Rev.2.04.10 以前	無名ユーザー (ユーザー名、パスワードともに空)	

以降、本章では、Rev.2.04.11 以降のファームウェアを使用する場合のログイン手順を説明します。

注記

本製品の運用中に、ファームウェアを Rev.2.04.10 以前から Rev.2.04.11 以降にアップデートすると、ユーザーの設定が自動で変更される場合があります。

- 管理ユーザーを登録していない状態でアップデートした場合：
初期管理ユーザー「admin」が自動で追加されるため、初回は「admin」でログインする必要があります。
- ユーザーのパスワードを設定していない状態でアップデートした場合：
ユーザー名と同じパスワードでログインできます (セキュリティの観点から、ログイン後のパスワード変更を推奨します)。

詳しくは、SWR2310 シリーズの「技術資料」をご覧ください。

本製品で使用するコマンドについて、詳しくはコマンドリファレンスを参照してください。コマンドリファレンスは、ヤマハのウェブサイトで公開されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

Web GUI を使用して設定する

Web GUI を使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。

Web GUI には Yamaha LAN Monitor からログインしますので、あらかじめ Yamaha LAN Monitor をインストールしてください。

ログインする前に、コンピューターを同じネットワークに接続してください。

対応する Web ブラウザーについてはヤマハのウェブサイトを参照してください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

■ Web ブラウザーを使用して本製品にログインする

1. Yamaha LAN Monitor を起動する。
2. 設定する機器を選択して、「機器詳細」ビューにある「Web GUI」ボタンをクリックする。
アクセスに成功すると、ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。
3. ユーザー名とパスワードを入力して、「Login」ボタンをクリックする。
工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーのユーザー名「admin」とパスワード「admin」を入力します。
工場出荷時の状態でログインに成功すると、言語選択画面が表示されます。

注記

ユーザー名やパスワードを 3 回連続で間違えると、その後 1 分間、本製品にログインできなくなります。その場合は、1 分以上時間を空けてから、手順 3 をやり直してください。

4. 使用する言語を選択する。
工場出荷時の状態でログインした場合は、パスワード変更画面が表示されます。

注記

使用する言語は、ログイン後の Web GUI でも変更できます。

5. 新しいパスワードを 2 つの欄に入力して、「Save」ボタンをクリックする。
パスワード変更が成功すると、Web GUI のトップ画面が表示されます。

CONSOLE ポートを使用してコマンドラインで設定する

CONSOLE ポートを使用するために必要なケーブル、ドライバー、ソフトウェア、設定について説明します。

■ コンソールケーブルの準備

- コンピューターと本製品の CONSOLE ポートを、USB ケーブルまたは RJ-45/DB-9 コンソールケーブルで接続します。
- mini-USB CONSOLE 端子に接続する USB ケーブルは、USB Type A コネクターと USB mini-B (5 ピン) コネクターのデータ通信対応の USB ケーブルをご使用ください。充電専用ケーブルはご使用できません。

■ USB シリアルドライバーのインストール

- mini-USB CONSOLE 端子を使用する場合は、あらかじめコンピューターに USB シリアルドライバーのインストールが必要です。
- USB シリアルドライバーのインストール手順については、「ヤマハネットワーク機器 USB シリアルドライバーインストールガイド」を参照してください。

ヤマハネットワーク機器 USB シリアルドライバーインストールガイド、およびインストーラーはヤマハのウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

■ コンピューターの準備

コンピューターのシリアル (COM) ポートを制御するターミナルソフトウェアが必要です。

ターミナルソフトウェアのパラメーターを、以下のように設定します。

パラメーター	設定値
データ転送速度	9600bps
キャラクタービット長	8
パリティチェック	なし
ストップビット数	1
フロー制御	Xon/Xoff

RJ-45 CONSOLE ポートと mini-USB CONSOLE 端子の両方をコンピューターに接続している場合は、mini-USB CONSOLE 端子を使用しているターミナルソフトウェアのみで設定が可能になります。

なお、本製品からの出力メッセージは両方の CONSOLE ポート / 端子へ出力されます。

■ CONSOLE ポート / 端子に接続したコンピューターからのログイン

1. 本製品とコンピューターをコンソールケーブルで接続する。

コンピューターと本製品の CONSOLE ポート / 端子を、USB ケーブルまたは RJ-45 / DB-9 コンソールケーブルで接続します。

注記

- LAN ポートと RJ-45 CONSOLE ポートのコネクタ形状は、同じ 8 ピンコネクタです。これらを間違えて接続すると、ハードウェアの破壊や故障につながります。十分に確認してから接続してください。
- mini-USB CONSOLE 端子を使用する場合は、USB ハブは使用しないでください。複数のヤマハスイッチと 1 台のコンピューターを接続すると、接続に割り当てられる COM ポート番号が意図せず入れ替わってしまう場合があります。誤って意図しない機器の設定を変更する可能性がありますのでご注意ください。

2. 本製品の電源を確認する。

本製品の電源が入っていないときは、「電源を入れる」(35 ページ) を参照し電源を入れます。本製品の電源が入り、コマンドラインが使用できる状態になると起動メッセージがパソコンのコンソール画面に表示されます。

すでに電源が入っているときは、起動メッセージは表示されません。

```
SWR2310-10G Rev.2.04.11 (Fri Jul 15 09:38:27 2022)
Copyright (c) 2022 Yamaha Corporation. All Rights Reserved.
```

3. <Enter> キーを押す。

ユーザー名入力待ち状態になります。

4. ユーザー名を入力して、<Enter> キーを押す。

工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーのユーザー名「admin」を入力します。

```
Username: admin
```

パスワード入力待ち状態になります。

5. 手順 4 で入力したユーザーのパスワードを入力して、<Enter> キーを押す。

工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーの初期パスワード「admin」を入力します。

```
Password:
```

注記

- パスワードとして入力した文字列は、コンソール画面に表示されません。(以降の手順でも同様です)
- パスワードを 3 回連続で間違えると、その後 1 分間、本製品にログインできなくなります。その場合は、1 分以上時間を空けてから、手順 4 からやり直してください。

設定

初期管理ユーザーの初期パスワード変更前：

パスワード認証が成功すると、新しいパスワードの入力待ち状態になります。
手順 6 に進み、パスワードを変更してください。

```
SWR2310-10G Rev.2.04.11 (Fri Jul 15 09:38:27 2022)
Copyright (c) 2022 Yamaha Corporation. All Rights Reserved.
```

```
Please change the default password for admin.
New Password:
```

初期管理ユーザーの初期パスワード変更後：

パスワード認証が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。以上で、ログインの手順は完了です（以降の手順は不要です）。

```
SWR2310>
```

6. 新しいパスワードを入力して、<Enter> キーを押す。

```
New Password:
```

新しいパスワードの再入力待ち状態になります。

7. 手順 6 と同じパスワードをもう一度入力して、<Enter> キーを押す。

```
New Password(Confirm):
```

パスワード変更が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。

```
Saving ...
Succeeded to write configuration
```

```
SWR2310>
```

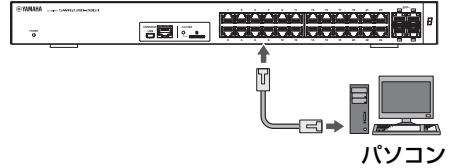
コマンドに関する詳細についてはコマンドリファレンスを参照してください。

接続

■ ネットワーク機器やパソコンと接続する

注意

本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆回線 LAN を含む）には直接接続しないでください。



ネットワーク機器や、パソコンの LAN ポートと本製品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。光ファイバーケーブルで接続するときは、SFP/SFP+ ポートに対応する SFP モジュールや SFP+ モジュールを装着します。

装着手順については「SFP モジュールを装着する」（31 ページ）を参照してください。



注意

LAN ポートと RJ-45 CONSOLE ポートのコネクター形状は、同じ 8 ピンコネクターです。これらを間違えて接続すると、ハードウェアの破壊や故障につながります。十分に確認してから接続してください。

■ SFP モジュールを装着する

- SFP ポート（ **SWR2310-10G** ）：
SFP モジュール (SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX)
- SFP+ ポート（ **SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT** ）：
SFP+ モジュール (SFP-SWRT-SR、SFP-SWRT-LR)、
SFP モジュール (SFP-SWRG-SX、SFP-SWRG-LX)

ここでは対応した SFP モジュールまたは SFP+ モジュールをまとめて SFP モジュールと記述します。

1. 本製品のSFP/SFP+ポートに付いているダストカバーを取り外し、SFPモジュールを差し込む。

メモ

本製品はホットスワップに対応しているため、電源を切らずにSFPモジュールを装着できます。

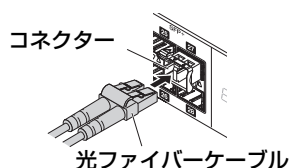
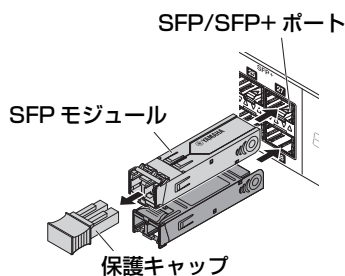
2. SFPモジュールから保護キャップを外す。



注意

SFPモジュールを装着したときは光源を覗き込まない。
弊社別売のSFPモジュールはクラス1レーザー機器です。目に見えないレーザー光線が放射されているおそれがあります。レーザー光線が目に入ると、視覚に障害を及ぼすおそれがあります。

3. 各モジュールに対応した光ファイバーケーブルをコネクタに接続する。

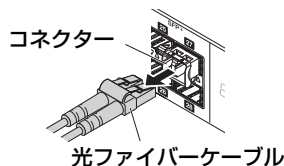


■ SFPモジュールを取り外す

本製品が動かないように固定し、SFPモジュールのレバーを持って、手前にゆっくり引くと、SFP/SFP+ポートから取り外すことができます。

ここでは対応したSFPモジュールまたはSFP+モジュールをまとめてSFPモジュールと記述します。

1. 光ファイバーケーブルを取り外す。



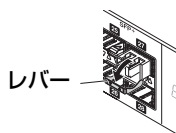
2. SFPモジュールを上段のポートに接続している場合は、SFPモジュールのレバーを下げる。

下段のポートに接続している場合は、レバーを上げます。



注意

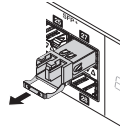
SFPモジュールを装着したときは光源を覗き込まない。
弊社別売りのSFPモジュールはクラス1レーザー機器です。目に見えないレーザー光線が放射されているおそれがあります。レーザー光線が目に入ると、視覚に障害を及ぼすおそれがあります。



3. レバーを持って SFP モジュールを引き抜く。

メモ

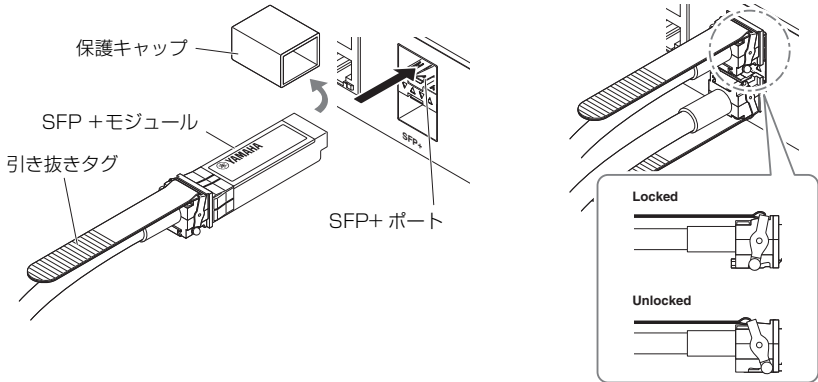
本製品はホットスワップに対応しているため、電源を切らずに SFP モジュールを取り外すことができます。



■ ダイレクトアタッチケーブルを装着する **SWR2310-28GT** / **SWR2310-18GT**

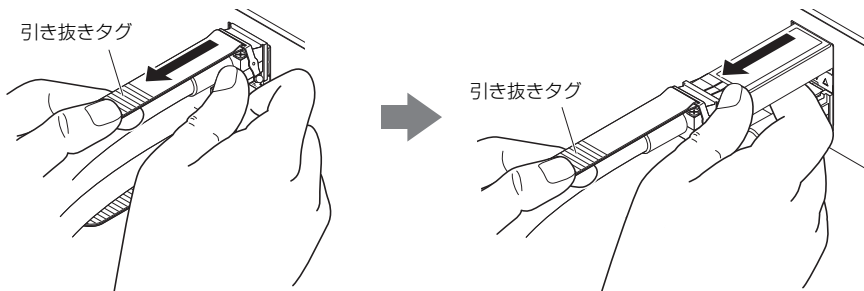
SWR2310-28GT、SWR2310-18GT の SFP+ ポートには、ダイレクトアタッチケーブル (DAC-SWRT-3M、DAC-SWRT-1M) を装着することができます。

1. ダイレクトアタッチケーブルの SFP+ モジュール部の保護キャップと本製品の SFP+ ポートのダストカバーを取り外します。
2. ダイレクトアタッチケーブルの SFP+ モジュール部を持ち、本製品の SFP+ ポートにしっかりと差し込み、ロックをかけます。



■ **ダイレクトアタッチケーブルを取り外す** SWR2310-28GT / SWR2310-18GT

1. 片方の手で SFP+ モジュール部を奥側に押さえながら、もう片方の手で引き抜きタグを手前に引き、ロックを解除します。
2. ロックが解除されたら、引き抜きタグを引いたまま、SFP+ モジュール部をゆっくり引き抜きます。



注意

- ・ダイレクトアタッチケーブルのケーブルを持って引き抜かないでください。故障の原因になります。
- ・引き抜きタグのみを引っ張って引き抜かないでください。故障の原因になります。
- ・ロックが解除されたことを確認してから、引き抜いてください。無理に引き抜くと、ダイレクトアタッチケーブルの故障や本製品の破損の原因になります。

■ **スタック接続する** SWR2310-28GT

SWR2310-28GT の SFP+ ポートにダイレクトアタッチケーブルまたは、SFP+ モジュール (SFP-SWRT-SR、SFP-SWRT-LR) を装着します。SFP+ モジュールを使用する場合は、別途 SFP+ モジュールに適応した光ファイバーケーブルをご用意ください。

ダイレクトアタッチケーブルの装着、取り出し手順については「ダイレクトアタッチケーブルを装着する」[SWR2310-28GT](#) / [SWR2310-18GT](#) (33 ページ)、「ダイレクトアタッチケーブルを取り外す」[SWR2310-28GT](#) / [SWR2310-18GT](#) (34 ページ) をご覧ください。

SFP+ モジュールの装着手順については「SFP モジュールを装着する」(31 ページ) を参照してください。スタック接続については SWR2310 シリーズの技術資料を参照してください。

■ 電源を入れる

1. 付属の電源コード抜け防止金具を取り付ける。

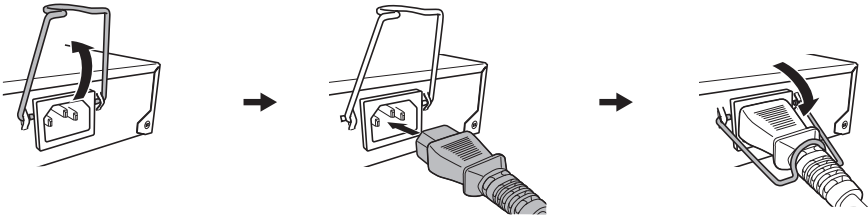
電源コードの不意の脱落を防止するために、付属の電源コード抜け防止金具（右のイラストでは「付属の金具」）を電源コード抜け防止金具取り付け穴（右のイラストでは「本体の穴」）に取り付けて電源コードを固定します。

- 付属の電源コード抜け防止金具は、付属の電源コード専用です。
- 付属の電源コード以外では、コードが破損したり十分に固定できなかったりする可能性があります。



付属の金具を本体の穴に差し込む。

2. 付属の電源コードを電源インレットに接続し、金具で固定する。



- ① 金具を持ち上げる。 ② 電源コードを接続する。 ③ 金具を押し下げて固定する。

3. 電源プラグをコンセントに接続する。

POWER インジケーターが緑点滅し、起動完了後に緑点灯します。



注意

POWER インジケーターが橙色で点灯している場合は、本製品内部温度の異常が発生しています。本製品内部の温度が適正になるように、設置環境を見直して本製品を正しく設置してください。

4. ポートのインジケーターを確認する。

ネットワーク機器やパソコンを接続したポートの左インジケーター（LINK/ACT）が緑点灯または緑点滅していれば正常です。

【ポートの左インジケーター（LINK/ACT）が緑点灯または緑点滅しない場合は】

ポートにケーブルが正しく接続されているかどうか、接続したネットワーク機器やパソコンの電源が入っているかどうか確認してください。

接続状態の詳細は「ポートのインジケーター」（18 ページ）をご覧ください。

初期化

以下の方法で本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- ・ Web GUI から工場出荷時の状態に戻す（36 ページ）
- ・ cold start コマンドで工場出荷時の状態に戻す（37 ページ）
- ・ 起動時に <I>（大文字のアイ）キーを入力し工場出荷時の状態に戻す（38 ページ）

注記

工場出荷時の状態へ戻す場合は、以下の点にご注意ください。

- ・ 実行した直後にすべての通信が切断されます。
- ・ 実行すると、設定内容も工場出荷時の状態に戻ります。必要に応じて、事前に外部メモリーなどに設定内容を退避してください。外部メモリーにエクスポートする方法について詳しくは、SWR2310 シリーズの「技術資料」を参照してください。

メモ

工場出荷時の状態に戻した後のログイン手順については、「設定」（26 ページ）をご覧ください。

■ Web GUI から工場出荷時の状態に戻す

Web GUI から設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

注記

管理パスワードが初期設定の状態では、この手順は実行できません。事前に管理パスワードを変更してください。

Yamaha LAN Monitor から Web GUI にログインしてください。

1. 「管理」タブ - 「保守」 - 「再起動と初期化」を順に選択する。

「再起動と初期化」画面が表示されます。

2. 「初期化」項目の「進む」ボタンをクリックする。

「初期化」画面が表示されます。

3. 管理パスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックする。

「実行内容の確認」画面が表示されます。

4. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックする。

本製品が工場出荷時の状態へ戻されます。また、「初期化」ダイアログが表示され、本製品が再起動します。

5. 本製品の再起動の完了後、Yamaha LAN Monitor 経由で Web GUI に再度アクセスする。

メモ

再起動中は Web GUI を開いているコンピューターが本製品と通信できない状態（コンピューターのネットワークアダプタの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます）になりますが、再起動が完了すると通信状態が復旧します。本製品の POWER インジケータの点滅終了後に、Web GUI を開いているパソコンの通信状態が復旧していることを確認してから「機器詳細」ビューにある「Web GUI」ボタンをクリックしてください。

■ cold start コマンドで工場出荷時の状態に戻す

CONSOLE ポートや Telnet、SSH クライアントを使用してコマンドラインから設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

注記

管理パスワードが初期設定の状態では、この手順は実行できません。事前に enable password コマンドで管理パスワードを変更してください。

ここでは、「CONSOLE ポート / 端子に接続したコンピューターからのログイン」（29 ページ）でログインしたことを前提に説明します。

1. enable を入力し <Enter> キーを押す。

特権 EXEC モードに変更します。

```
SWR2310>enable
SWR2310#
```

2. cold start コマンドを入力し <Enter> キーを押す。

管理パスワードの入力が要求されます。

```
SWR2310#cold start
Password:
```

3. 管理パスワードを入力し <Enter> キーを押す。

本製品が工場出荷時の状態へ戻り、本製品が再起動します。

初期化

■ 起動時に <I> (大文字のアイ) キーを入力し工場出荷時の状態に戻す

本製品の起動時に大文字の <I> を入力することで設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。ここでは、電源コードの抜き差しによる場合で説明します。reload コマンドによる本製品起動時と同じ手順です。

注記

ここでは、「CONSOLE ポート / 端子に接続したコンピューターからのログイン」(29 ページ) でログインしたことを前提に説明します。

1. 本製品の電源コードを抜き差しする。
2. 再起動後、コンソール画面に BootROM Ver (下記参照) が表示されてから 1 秒以内に大文字の <I> を入力する。

```
SWR2310 BootROM Ver.1.00
```

メモ

コンソール画面に BootROM Ver が表示される前に、[Caps Lock] キーで入力文字を大文字にして待機するか、または [Shift] キーを押して待機しておくこと、すぐに大文字の [I] キーを入力することができます。

3. 初期化実行有無の画面が表示されたら <y> キーを押し、初期化を実行する。

```
Initialize or not?(y/n)
```

初期化が実行されます。

```
Ready to Initialize  
.....
```

資料

ハードウェア仕様

項目		SWR2310-28GT	SWR2310-18GT	SWR2310-10G
外形寸法 (W x D x H 単位: mm) 突起物、レッグを含まず		440mm (W) x 300mm (D) x 44.0mm (H)	330mm (W) x 200mm (D) x 43.5mm (H)	220mm (W) x 250mm (D) x 40.5mm (H)
質量 (付属品含まず)		3.9 kg	2.1 kg	1.7 kg
電源電圧、周波数		AC100 ~ 240V、50/60 Hz 付属の電源コードを使用する場合は、日本国内 AC100V のみ使用可能		
最大消費電力		25.2 W	19.0 W	11.7 W
CONSOLE ポート	規格	RS-232C、USB2.0		
	コネクタ	RJ-45、USB mini-B (5 ピン)		
	データ転送速度	9600bit/s		
LAN ポート	規格	IEEE802.3 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)		
	ポート数	24	16	8
	通信モード	オートネゴシエーション		
	コネクタ	RJ-45		
	極性	ストレート / クロス自動判別またはストレート固定		
SFP+ ポート	規格	IEEE802.3z(1000BASE-SX/ 1000BASE-LX)、 IEEE802.3ae(10GBASE-SR/ 10GBASE-LR)		—
	ポート数	4	2	—
SFP ポート	規格	—		IEEE802.3z (1000BASE-SX/ 1000BASE-LX)
	ポート数	—		2
microSD スロット	規格	microSD/microSDHC (microSDXC は非対応)		
	ファイル システム	FAT/FAT32		

資料

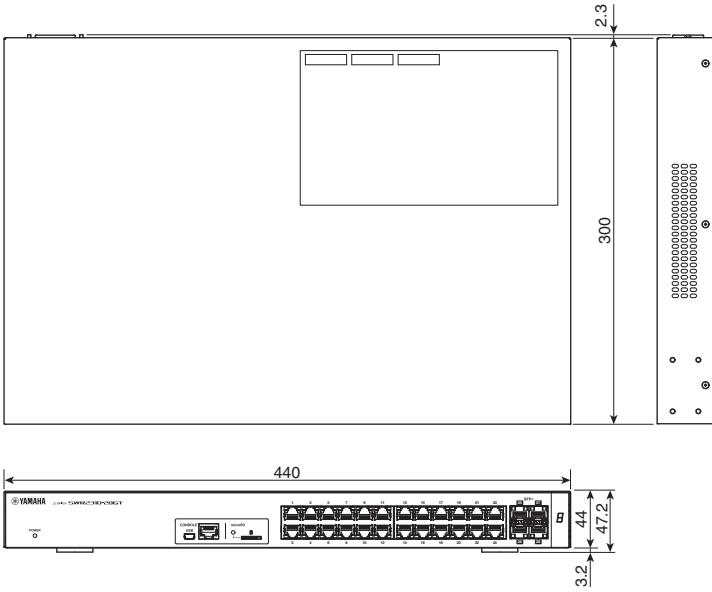
項目		SWR2310-28GT	SWR2310-18GT	SWR2310-10G
インジケータ		POWER、microSD、STACK ID、LAN ポート (LINK/ACT、SPEED)、SFP+ ポート (LINK/ACT、SPEED)	POWER、microSD、LAN ポート (LINK/ACT、SPEED)、SFP+ ポート (LINK/ACT、SPEED)	POWER、microSD、LAN ポート (LINK/ACT、SPEED)、SFP ポート (LINK/ACT、SPEED)
MAC アドレス		本体上面の製品ラベルに表示		
電波障害規格		VCCI クラス A		
動作環境条件	周囲温度	0 ~ 50 °C		
	周囲湿度	15 ~ 80% (結露しないこと)		
保管環境条件	周囲温度	- 20 ~ 60 °C		
	周囲湿度	10 ~ 90% (結露しないこと)		
省工不法表示事項	区分名	A		
	エネルギー消費効率	0.4 W/(Gbit/s)	0.5 W/(Gbit/s)	1.0 W/(Gbit/s)
	最大実効伝送速度	64 Gbit/s	36 Gbit/s	10 Gbit/s
	測定時ポート速度 (ポート数)	1 Gbit/s (24), 10 Gbit/s (4)	1 Gbit/s (16), 10 Gbit/s (2)	1 Gbit/s (10)
付属品		取扱説明書 (本書)、電源コード (3 極プラグ)、電源コード抜け防止金具、レッグ		
		19 インチラックマウント用金具 & ネジ		—

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

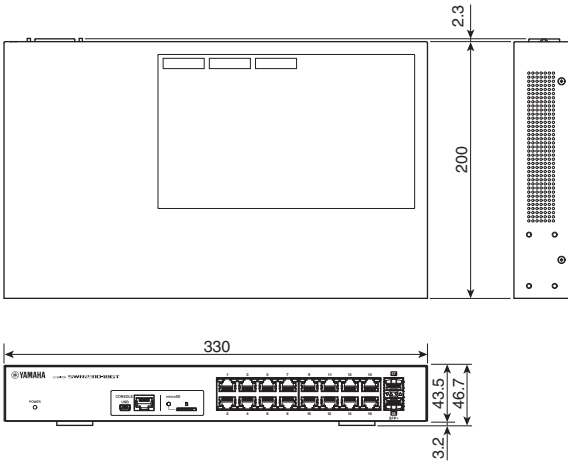
寸法図

SWR2310-28GT



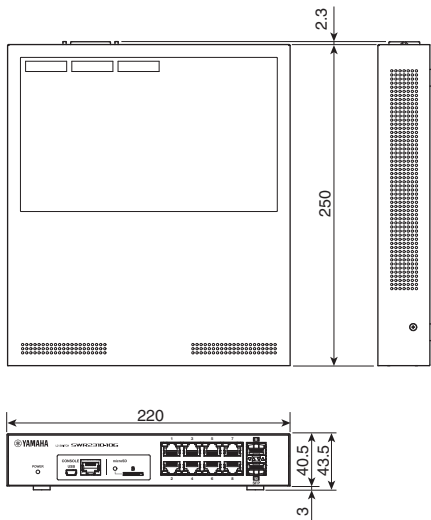
単位：mm

SWR2310-18GT



単位：mm

SWR2310-10G



単位：mm

RJ-45/DB-9 コンソールケーブル ピン配列

Console (RS-232C)

Signal	RJ-45	D-SUB 9
RTS	1	8
DTR	2	6
TxD	3	2
GND	4	5
GND	5	
RxD	6	3
DSR*	7	7
CTS*	8	4
		1

※ DSR, CTS 信号は SWR2310 シリーズでは使用しません。

ソフトウェアライセンス利用規約

本製品は、ファームウェアをリビジョンアップできます。

ファームウェアのリビジョンアップ操作は、ヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約に同意したとみなされます。ファームウェアをリビジョンアップする前に、必ずヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約をお読みください。

ヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約の内容に同意していただけない場合は、ファームウェアのリビジョンアップを行わないでください。過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本ソフトウェアに起因するお客様側の損害について、法令上免責が認められない場合を除き、一切の責任を負いません。



ヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/firmware/license/LICENSE>

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の上面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(top_ja_02)

索引

C		
cold start コマンド	37
CONSOLE ポート	28
L		
LAN ポート	12
M		
microSD インジケータ	12
microSD スロット	12
mini-USB CONSOLE 端子	12, 28
P		
POWER インジケータ	11
R		
RJ-45 CONSOLE ポート	12
RK-SWR	20
S		
SFP+ ポート	12
SFP+ モジュール	31
SFP ポート	13
SFP モジュール	31
Stack ID インジケータ	13
W		
Web GUI	27
WK-SWR	23
Y		
Yamaha LAN Monitor	10, 27
う		
ウォールマウントアクセサリ		
取り付け穴	14
か		
管理パスワード	36, 37
こ		
コマンドライン	28
し		
初期化	36
初期管理ユーザー	26
初期パスワード	26
す		
スタック接続	34
せ		
製品ラベル	17
た		
ダイレクトアタッチケーブル	33
つ		
通風孔	17
て		
電源インレット	15
電源コード抜け防止金具	35
電源コード抜け防止金具取り付け穴	15
は		
パスワード	29
や		
ヤマハネットワーク機器 USB		
シリアルドライバ	10, 28
ゆ		
ユーザー名	29
ら		
ラックマウントアクセサリ		
取り付け穴	14
ラックマウント用金具取り付け穴	17
れ		
レグ	19
レグ取り付けガイド	14

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



0570-050-808

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX 03-5762-2125 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持ち込み窓口

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT 京浜 E 棟 A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻本ビル 7F
FAX 06-6649-9340

受付時間
月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12
KDX 箱崎ビル

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ポリウム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

*名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

MEMO

MEMO

保証書

持込修理

品名	L2スイッチ		
※品番			
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お客様様	ご住所	□□□□-□□□□	
	お名前	様	
	お電話		

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は保証規定をご覧ください)

※販売店	店名	印
	所在地	
	電話	()

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センター*にお問合わせください。
- 保証期間内で多次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書または購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
 - この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ修理ご相談センター*にお問合わせください。
 - ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
 - その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>
ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>